

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園：湿地の観察会（2020/3/21 実施）～

参加者：9名

※この観察日記は、参加者の感想を基に構成されています。

モミジイチゴの花が咲いていました。枝の下側にうつむいて咲いているので見逃してしまうところでした。直径は3センチ近くありそうな、白いきれいな花です。もっとよく見たいと、不用意に枝を持ち上げたりすると、鋭い棘に痛い目にあわされます。オレンジ色の実は結構甘くて、5月末頃でしょうか、熟するのが楽しみです。



下向きに咲くモミジイチゴの花



満開のコブシの花

桜も沢山咲いて、コブシも満開。見通しのよくなった湿地でアオサギがエサ探し。そ〜と歩いては、狙いを定める。何か捕まえた！あれはザリガニか？ちょっと遠くてわからないが、get！遊歩道に人が近づくとさあ〜と後退し、そしてまた前進を繰り返す。観察会終了時にも、まだそこにとどまっていた。よほどおいしいエサがあるのかな？



湿地を歩くアオサギ



アオサギの顔のアップ

タガラシ、ケキツネボタンいずれも花が見られた。三浦半島にはキツネノボタンがあったように思う。今度出あったら毛の有無を確かめよう。うっかりしていて確かめなかった事を残念に思っている。ケキツネノボタンには茎にびっしり毛が見られる。図鑑を見ると葉の様子も花もケキツネとは少し違うようだ。



ケキツネノボタン



ハエを食べるヨコヅナサシガメ

上の広場のサクラの幹に何かついていないかと探していたところ、ヨコヅナサシガメを発見。よく見てみると、口吻を伸ばして何かお食事中のよう。良くはわからないが、ハエの仲間を食べている。ヨコヅナサシガメを図鑑で調べると、セミを捕食している写真などが載っている。動きはノロいのに、なぜ素早いハエやセミを捕まえられるのか？捕まえるその瞬間を見てみたい。



湿地の風景



キタテハ



ベンチでひと休み

土橋辺りで表皮が剥けてはがれそうな大木が目についた。ムクノキと教えられる。私のムクノキの記憶は雄大な盤根錯節と、きめ細かい線條の表皮であり、ささくれだった今にも欠け落ちそうな表皮の様は見て気付かなかったのか、目にしたのがそれほど樹齢を重ねていないものだったのだろうか。表皮のこの先の変化が気になるところで、ネットで検索すると樹齢 1500 年にもなるのが存在する様で、観察したのは高々100 年にも満たないムクノキだろうから表皮が更新し新たに樹齢を重ねるのだろうと想像しこれから先関心を持って見つめていこうと思う。ムクノキの近くにケヤキがあり独特のまだら模様の木肌が観察された。こちらは同一のケヤキについて毎年観察しているように感じる。根木内には幸い両者が隣り合っており気長に変化の模様を比較し、フォローしていこうと思う。



ムクノキの根元



ムクノキの幹上部



ケヤキの根本

今後の観察会開催は未定です。それぞれが、自分の都合のいい時に散歩にでも来て下さい。4 月にはアリアケスミレが咲いていましたが、皆さんと見られないのが残念です。先ずは予防に努め、難しいけどストレスをため込まないようにして元気に過ごしましょう。

お問い合わせは下記メールまでお願いします。
akihitoaizawa@gmail.com (相澤)